

相武台自治会だより

第38号

令和4年11月19日発行

自主防災訓練が3年ぶりに行われました

10月16日(日)に老人憩いの家にて、3年ぶりとなる自主防災訓練が行われました。

当日は防災委員を中心に、30名以上の方々が参加し、座間消防署のご協力・ご指導の下で行われました。

初めは、①意識が無く心肺も停止している人への「胸骨圧迫による心肺蘇生訓練」です。ほぼ全員の方が模型の人形を相手に、実際に行ってみました。そして心肺に電気ショックを与えるAEDの使い方についても、訓練を希望する方にやってみてもらいました。

次は、②消防車の到着が遅れる時の「軽可搬ポンプを使っ
ての消化訓練」です。ここでも訓練を希望する方が多く、代表の方にポンプの稼働と、それを用いての放水を実際にやってみてもらいました。

最後は、③家庭での初期消火となる「水消火器による消火訓練」です。全員の方に的に向かって噴射してもらいました。

防災は日頃の意識と訓練が大切であることを、全員が確認し合って終了致しました。



市民レクリエーション大会が開催されました

10月30日(日)に相武台東小学校校庭にて、相武台地区自治会連合による市民レクリエーション大会が、コロナ対策に万全を期して開催されました。

当日は秋晴れに恵まれ、「スポーツに親しみ、会員相互の親睦を図るふれあいの場づくり」を目的に、小さなお子さんからご年配の方まで大勢の方々が参加されました。

開会式に続いて、レースが始まり

- ① 缶釣りレース (釣り竿の糸先の針を、缶の口に入れて釣り上げて、カラーコーンを周回する)、
- ② スプーンレース (スプーンにボールを乗せてカラーコーンを周回する)、
- ③ パン食いレース (感染症対策として、手で取るようにルールを変更しましたので、パン取りレースです) の順に行われました。最後に
- ④ 民謡踊り (座間音頭と炭鋤節を2回づつ、音楽と太鼓の音に合わせて踊ります) を楽しんでいただいた後、閉会式にて終了となりました。

参加された皆さんは、お茶やパンの他にも、レースや踊りの参加賞である小池地区の新鮮野菜をいっぱい抱えての帰路となりました。

